

優秀賞

まほうのことば

鹿児島県 神村学園初等部 一年

上宮田 凜

わたしは、きゅうしょくをたべるのが、みんなよりおそいです。白ごはんと、おさかながにがてだからです。きゅうしょくは、きらいではないです。ゆかりごはんや、ひじきがでてくるときはだいすきです。

(いつも、ゆかりごはんとひじきがでてくるといいのになあ)とおもいます。

ある日、やっぱりきゅうしょくをたべるのがおそくなりました。とけいを見ると、どんどんお休みじかんがへっていきます。

(はやくたべて、みんなとあそびたいな)

と、ころろがしゅんと小さくなりました。そして、

(きゅうしょくをぜんぶたべおわりたいな)

ところろがモヤモヤしてきました。ころろがモヤモヤして、ごちゃごちゃして、なみだがポロポロでてきました。

そのとき、おともだちのやさしいこえがきこえてきました。

「だいじょうぶ。がんばって。」

わたしは、もっとなみだが出てきました。さっきは、モヤモヤしているなみだだったけれど、こんどは、ゆうきがモリモリ出てくるなみだです。

「りんちゃん。あとすこしでたべおわるね。すごいじゃん。」

おぼんをふいているおともだちが、またこえをかけてくれました。わたしはなみだを手でふきました。(よし)と、ころろの中で力をためました。

ごはんをすこしずつお口に入れました。いつもとっしょでおいしくないけれど、おともだちのことばがグルグルまわって、げんきが出てきました。

「ありがとう。がんばるね。」

と、わたしがいうと、にっこりわらってくれました。わたしはもうちょっと、げんきが出てきました。

ちよっぴりじかんがかかったけれど、なんとかきゅうしょくをたべおわることができました。

「やったあ。たべおわった。」

わたしが大きなこえでいうと、みんながパチパチとはくしゅをしてくれました。ころろの中で、なんかいもばんざいをしました。

おともだちのことばは、まほうのことばです。げんきをたくさんもらえました。たくさんのうれしいまほうのことばをもらったので、わたしもおともだちをげんきににするまほうのことばをたくさんいいます。

「みんな、ほんとうにありがとう。」